

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

[illegible]

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分	新規・拡充
				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	泉北ニュータウン駅前再編整備事業			事業番号	016-004
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	企画推進担当
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2030	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractiveness～		施策	(4) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造		
			有	取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和					
		寄与するKPI	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合					
			有	現状値	25.8%（2030年推計値）		目標値	26.8%（2030年度）		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.7		
			有	取組	ウォーカブルな都市空間の形成					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	SENBOKU New Design（本市策定）、IZUMIGAOKA Next Design（泉北ニューデザイン推進協議会策定）、柁・美木多駅前活性化土地利用構想（本市策定）、光明池駅前地域活性化基本方針（本市策定）							
3	事業開始年度	平成 22 年度			点検対象年度		令和 12 年度		
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）	都市計画法、道路法、都市公園法							

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	泉北ニュータウンに関わる市民、事業者等	対象数	単位
			約13万	人
7	事業の目的	泉北ニュータウンの各駅前における様々な取組を進めながら、駅前地域の道路や公園、駅前交通広場等の都市基盤の再編整備を行い、安全・安心の確保及び利便性の向上を図る。		
8	事業内容	①泉ヶ丘駅前再編整備 ・駅前地域の賑わいと魅力創出に寄与する歩行空間や広場空間の再編整備を図る。 ・泉ヶ丘公園の整備を行い、健康増進や子育て環境の拡充に寄与し、地域の憩いの空間を創出する。 ②光明池駅前再編整備 ・基本方針に示す将来像を地域の住民、民間事業者等と共有し、同方針に即した取組を推進する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先	設計業者及び工事業者		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	再編整備の進捗率	%	目標値	65	97	97	99
			実績値	65	89		
			達成率	100%	92%		
	当該指標を選定した理由	全体の再編整備工事完了目標に対する、各年度の工事完了の目標と実績をもって達成状況を確認するため					
		目標値の設定根拠・算出方法	整備完了面積／整備計画面積×100				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	業務・工事の入札発注件数	件	目標値	11	6	10	
			実績値	10	6		
			達成率	91%	100%		
	当該指標を選定した理由	再編整備完成に向け、各年度の業務や工事の発注計画とその実績より、事業の取組状況を把握するため					
		目標値の設定根拠・算出方法	設計業務及び工事（入札案件）の発注件数				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	泉北ニュータウン駅前再編整備事業	事業番号	016-004
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 令和8年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財源内訳	事業費（a）	1,034,374	1,043,635	753,993	570,986	486,853
	国支出金	285,090	225,760	209,660	200,000	176,700
	府支出金		25,595			
	市債	594,600	688,100	444,800	282,500	235,300
	その他（ 寄付金、繰入金等 ）		53,400	43,390		
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	154,684	50,780	56,143	88,486	74,853

事業費の内訳

（単位：千円）

	主な項目	年度		事業費		主な項目	年度		事業費	
					うち一般財源					うち一般財源
14 事業費内訳	委託料（泉ヶ丘関係（泉ヶ丘公園を除く））	R7	予算	13,000	13,000	負担金（泉ヶ丘関係（泉ヶ丘公園を除く））	R7	予算	6,673	6,673
		R8	予算	17,000	17,000		R8	予算	0	0
	委託料（泉ヶ丘公園関係）	R7	予算	43,150	9,150	その他	R7	予算	979	979
		R8	予算	43,440	6,440		R8	予算	3,213	3,213
	委託料（梅・美木多、光明池関係）	R7	予算	10,384	10,384		R7	予算		
		R8	予算	5,000	5,000		R8	予算		
	工事請負費（泉ヶ丘公園関係）	R7	予算	463,800	45,000		R7	予算		
		R8	予算	418,200	43,200		R8	予算		
	工事請負費（梅・美木多関係）	R7	予算	33,000	3,300		R7	予算		
		R8	予算	0	0		R8	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R8 ～ R9	要求額	223,000
----	----	---------	-----	---------

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	近畿大学医学部等の開設に伴う三原台1丁交差点改良工事、三原台156号線（くぬぎ橋、階段・スロープ区間、けやき橋）の改良工事及び旧くぬぎ橋撤去工事、田園・三原公園等の再整備工事、泉ヶ丘公園の基本設計、実施設計、基盤整備工事 梅・美木多駅前のJ陸橋階段拡幅工事、南北広場再編整備工事、北エレベータ設置工事、桃山台62号線道路改良工事
	R8	泉ヶ丘公園の整備工事 泉ヶ丘駅前南広場電気設備ほか調査、泉ヶ丘駅前南広場再編整備費用対効果分析 光明池駅前地域の公共施設のあり方検討
	R9以降	泉ヶ丘公園の整備工事、泉ヶ丘駅前南広場等の再整備工事

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・泉ヶ丘公園の整備工事を行い、健康増進や子育て環境の拡充に寄与し、地域の憩いの空間を創出する。 ・泉ヶ丘駅前南広場の再編整備事業に向けての事前調査を実施する。 ・光明池駅前地域の今後の検討に当たっての事前調査を実施する。
----	---------	--

令和8年度予算要求額：12,000千円

新規 泉ヶ丘駅前南広場電気設備ほか調査業務等

■ 背景

- ・令和6年度までに、近畿大学医学部・大学病院（以下「近畿大学」という。）の開設に伴う交通量増加を見据えて、泉ヶ丘駅から近畿大学に連絡する市道三原台156号線の道路改良工事等を行い、安全で安心な歩行空間の確保やバリアフリー化等の利便性と周遊性を高める事業を行った。しかしながら、駅から近畿大学へのルート上にある南海電鉄の商業施設に接続する本市のペDESTリアンデッキ（以下「デッキ」という。）の通路部分の幅員が2m程度しか確保されていない。
- ・デッキは整備後約25年が経過しており、今後、補修工事等が必要となる見通しである。
- ・泉ヶ丘駅前地域の将来像や取組方針を定めた「IZUMIGAOKA Next Design（泉ヶ丘ネクストデザイン）」では、「駅改札レベルとの円滑な上下移動ができる動線や2階レベルでシームレスな動線を確保し、（各方面への）回遊性を高める」ことをめざしており、駅を起点にした駅前地域の活性化及び回遊性の向上を図るため、デッキや周辺道路の再編整備が必要である。

■ 事業内容

- ・将来的な泉ヶ丘駅前南広場のデッキや周辺道路の再整備に向けて、南広場電気設備ほか調査や再編整備事業の費用対効果の分析を行う。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分		新規・拡充	
				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		SENBOKUスマートシティ構想推進事業			事業番号		016-006
担当部署名		泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	スマートシティ担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2030	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractiveness～		施策	(4) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造		
			有	取組の方向性	③市民、企業、大学、団体など様々な主体との共創					
		寄与するKPI	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合					
			有	現状値	25.8%（2030年推計値）		目標値	26.8%（2030年度）		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3		
			有	取組	市民のQOLを高めるスマートシティの推進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	SENBOKU New Design（本市策定）、堺スマートシティ戦略（本市策定）、 SENBOKUスマートシティ推進ビジョン（SENBOKUスマートシティコンソーシアム策定）、 IZUMIGAOKA Next Design（泉北ニューデザイン推進協議会策定）					
3	事業開始年度	令和 4 年度		点検対象年度		令和 12 年度	
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	泉北ニュータウンに関わる市民、事業者等	対象数	単位
			約13万	人
7	事業の目的	泉北ニュータウン地域において、公民連携によりICTを活用しながら分野横断的に地域課題の解決などに取り組み、人々が暮らしの質を高め（Live SMART）、暮らしを愉しむ（Play SENBOKU）ことで地域に新たな価値を創造することを目的とする。		
8	事業内容	（事業概要） 民間企業がもつ技術やノウハウを活用し、モビリティやヘルスケアなどの様々な分野における公民連携事業を実施することで、住民や来訪者の生活利便、移住魅力の向上につながるサービスを提供する。 （取組内容） ・サービスの形成を推進する公民連携の組織である「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」の運営 ・先進的なサービスの実装化に向けて取り組む実証事業を支援		
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		
9	主な支出先	民間事業者		
10	公民連携・協働事業	公民連携事業		

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
	39歳以下人口比率（各年12月末）（社会情勢から減少は避けられないが、推計値より少し減少を抑える）	%	目標値	30.2	28.7	28.3	26.8
			実績値	29.0	28.7		
			達成率	96%	100%		
	当該指標を選定した理由	泉北ニュータウン外への転出超過が顕著に表れている39歳以下の世代を増加させ、バランスのよい年齢構成を実現するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	39歳以下の人口比率は年々減少し、令和12年の推計は25.8%になることが見込まれ、1%上回る26.8%を目標とする。						

12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	実証事業等の実施件数	件	目標値	3	5	5	
			実績値	13	4		
			達成率	433%	80%		
	当該指標を選定した理由	先導的事業の実施によりスマートシティの取組を進め、エリアブランドの向上と若年層を中心とした人口誘導をめざすため。					
目標値の設定根拠・算出方法	令和4年6月設立の「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」により組成された実施事業等を想定						

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	SENBOKUスマートシティ構想推進事業	事業番号	016-006
-------	----------------------	------	---------

Ⅲ. 令和8年度予算要求額

事業コスト （単位：千円）									
13	財 源 内 訳	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
		決算	決算	決算	予算	予算要求			
		事業費（a）	9,500	6,579	14,000	25,000	46,164		
		国支出金	4,750	3,290	7,000	10,000			
		府支出金							
		市債					4,500		
		その他（ 寄付金等 ）	4,745	3,100	2,000	5,000	22,250		
		受益者負担金(使用料、手数料等)							
		一般財源	5	189	5,000	10,000	19,414		

事業費の内訳 （単位：千円）									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
		SENBOKUスマートシティコンソーシアム運営負担金	R7 予算	1,000	500		R7 予算		
			R8 予算	1,000	500		R8 予算		
		実証事業等負担金【拡充】	R7 予算	24,000	9,500		R7 予算		
			R8 予算	44,625	18,375		R8 予算		
		普通旅費（枠）	R7 予算	0	0		R7 予算		
			R8 予算	539	539		R8 予算		
			R7 予算				R7 予算		
			R8 予算				R8 予算		
			R7 予算				R7 予算		
			R8 予算				R8 予算		

債務負担行為 （単位：千円）				
15	期間	R ～ R	要求額	

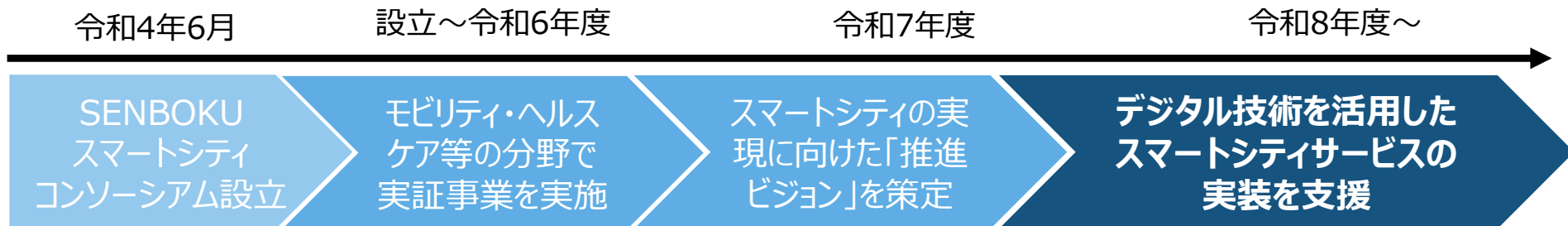
Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	令和3年5月に策定した「SENBOKU New Design」及び「堺スマートシティ戦略」に基づく取組を進めるため、「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」を設立し、モビリティやヘルスケアなどの分野での実証事業を実施した。また、令和7年9月に会員企業等と令和12年までのスマートシティ実現までのビジョンを共有し、共に行動する指針として「SENBOKUスマートシティ推進ビジョン」を策定した。
	R8	前年度までの取組成果を踏まえ、引き続き実証事業を継続することと合わせて、コンソーシアムの活動により新たな実証プロジェクトの組成を進める。また先進的なサービスの実装化に向けて取り組む実証事業を支援する。
	R9以降	実証事業の成果やサービス実装により得られたデータを活用し、更なるサービスの提供を行い、地域住民や来訪者が便利さや快適さを感じることのできるスマートシティの構築に取り組む。また「SENBOKUスマートシティ推進ビジョン」に記載した令和12年に実現したい姿を数値化したKPI（コンソーシアム発の実証事業数：25件）、KGI（コンソーシアム発の実装事業数：5件、実装事業利用者・実証事業参加者が南区民の30%）の達成をめざして取組を進める。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	コンソーシアムの活動による新たな実証プロジェクトの組成や、先進的なサービスの実装化に向けて取り組む実証事業を支援する。
----	---------	---

SENBOKUスマートシティ構想推進事業



【現状・課題】

まちびらきからまもなく60年を迎え、新たな地域課題の解決や住民のQOLの向上が求められる中、これまでの実証事業の成果を活かし、近畿大学医学部等やデジタル技術を持つ企業と連携して、地域資源を活かしたスマートシティサービスの実証・実装を進める取組の支援を行う。

交通移動支援サービス

地域の実情に応じた新たな移動支援サービスを支援

健康維持・予防支援

データとICTを活用して、地域住民が自分の健康に関心を持ち主体的に健康増進に取り組むことができるサービスを支援

デジタル連携

実証事業で得られた成果や様々なデータを見える化することで、新たなサービスを創出し、地域課題の解決をめざす取組を支援